

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営哲学

P.A.I.（パーソナル人工知能）の開発・普及を通じて、人々の可能性と価値を最大化し、
知の追求を尊重した世界を実現する

生成AI市場規模
1兆7,774億円

P.A.I.のTAM
12兆円

② 中長期の経営戦略

1. AI GIJIROKU展開

Voice-to-Text市場におけるシェア獲得。アジア圏言語での強みを活かし、人力文字起こし買収により学習ループ構築。AIスケジューラーなど多様なプロダクト展開

2. alt IDプラットフォーム

統合管理システムで各サービスをシングルサインオン連携。ユーザー個性学習により最適化され、デジタルクロン生成へ向かう

3. スtock型事業拡大

AX Products&Trading事業のサブスクモデル拡大で継続収益化。月次売上高・月次有料アカウント数を指標に成長推進

③ 対処すべき課題

① 競合優位性AIプロダクト開発

- ・音声認識技術の他社サービス増加への対抗
- ・Communication Intelligence「AI GIJIROKU」の差別化強化
- ・顧客基盤拡大による市場シェア確保

② 売上変動の安定化

- ・PoC・技術導入需要の景況感依存リスク低減
- ・フロー型事業の特定時期売上変動対策
- ・サービス継続率向上による収益安定

③ 生産年齢人口減少への対応

- ・2070年4,500万人への労働生産性向上課題
- ・非生産的労働のAI代替実現
- ・企業内業務効率化・生産性向上へのソリューション提供

面接で使えるポイント

- ・日本の生産年齢人口は2070年に約4,500万人まで減少予想。
- ・生成AI市場が2023年1,188億円から2030年1兆7,774億円へ15倍成長見込み。
- ・ソクラテスの「知を愛する」という古代ギリシャの格言を経営の根底に持つ。

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）

－（推移を描ける期数の開示がありません）

要するに
当社及び連結子会社3社（株式会社オルツREキャピタル主力事業・セグメント
・情報・通信業（セグメント未開示）強み・特徴（公開データから）
・－（判定に必要な数値が未開示）

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高
61億円営業利益率
▲38.4%財務健康度
36点 / 100点

将来性 雨 / 就活偏差値 57.2（当サイト算出の参考指標）

平均年収
894万円平均年齢
39.3歳平均勤続
2.8年

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース＋一言

